

第2回 岬町総合計画審議会 議事概要

資料1

開催日時	令和2年7月6日(月) 14時00分～16時00分
開催場所	岬町役場3F 第2委員会室
出席者	下村委員、大浦委員、奥野委員、小川委員、松尾委員、出口委員、北本委員 五反田委員、茂野委員、四至本委員、下出委員、田中委員、辻下委員 寺田委員、蔦岡委員、小川委員、早川委員
欠席者	河野委員、西田委員、柴崎委員
事務局	松岡副町長、西総務部長、窪田総務部理事兼財政改革部理事、寺田総務部理事、 岩田企画地方創生課長、多田企画地方創生課主事
傍聴者	4名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員の委嘱及び紹介 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1回 総合計画審議会について (2) 第5次総合計画策定スケジュールについて (3) 第5次総合計画(はじめに)素案改訂版について (4) 第5次総合計画(基本構想)素案について (5) 次回審議会日程について (6) その他 4. 閉会
資料	資料1 委員名簿 資料2 第1回岬町総合計画審議会議事録(概要版) 資料3 住民意向調査 クロス集計について 資料4 第5次岬町総合計画策定スケジュール 資料5 第5次岬町総合計画(はじめに)素案 資料6 第1回岬町総合計画審議会 意見要旨と対応方針・修正案 資料7 第5次岬町総合計画(基本構想)素案 資料8-1 第5次岬町総合計画「まちづくりの目標」の設定 資料8-2 第5次岬町総合計画骨子

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 ・委員総数 20 名のうち 17 名が出席しており、会議が成立していることを確認。 ・傍聴者が 4 名であることを確認。
	<p>2 委員の委嘱及び紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更について事務局より説明、挨拶
	<p>3 議事(1) 第 1 回 総合計画審議会について</p>
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・第 1 回審議会に出た意見と、それを受けて修正された資料について説明していただいた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3、住民意向調査のクロス集計をみると、若年層で交通の便が悪いという意見がある。難波まで時間はかかるものの、そこまで不便ではないと感じるため、資料 6 の No.2 の表現を検討していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で若年層の意見が反映されているということだが、いかがか。買い物などの日常生活と交通の便が不便とあり、生活利便性を維持、向上させることが必要とある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪いという表現は適切ではないと考える。若年層と考え方に差がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これはアンケート結果をもとにした文章であるので、事務局案で問題がないと考える。
事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識調査で多かった意見としてこの表現とさせていただいた。 ・No.5 の上下水道の維持について、岬町の下水道普及率を教えてください。 ・岬町の下水道普及率は、平成 30 年度が 78.4%、令和元年度で 78.8%であり、わずかながら上昇している。
	<p>議事(2) 第 5 次総合計画策定スケジュールについて</p>
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・スケジュールについて説明いただいたが、お認めいただけるか。(異議なしの声)
	<p>議事(3) 第 5 次総合計画（はじめに）素案改訂版について</p>
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・資料 5 について、修正箇所が分かるように下線を入れるなどして工夫してほしい。 ・今後 10 年間の流れを見通し、ウィズコロナの新しい生活様式について追記して

委員	<ul style="list-style-type: none"> いただいた。 新型コロナウイルス感染症の影響で外国人旅行者の減少が避けられないとの記載は適切か。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 後期基本計画で修正は可能だ。 このような書きぶりでは、産業活性化に足かせとなるのではないか。外国人観光客を今後受け入れてく上でも、標記を工夫していただきたい。
委員	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実施計画ではインバウンドや観光の充実について、より詳しく記載する。本編では、新型コロナウイルス感染症の動向を見つつ、状況に応じて加筆修正を行う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 一時的に観光客が減少する点について記載してもよい。 今まで外国人観光客ありきで観光施策を打ってきた中で、身近な国内観光客や身近な範囲での観光客に焦点を当てていくことが必要だ。将来的には外国人観光客も戻ってくるので、今はそのための準備期間である点を見据えた記載が良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、従前の生活様式を変えてはならない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想の基本方針 2 に、マイクロツーリズムについて記載している。地元での観光、旅行を通して地元の良さを再認識していただき、町内の観光発展につなげていく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> まずはマイクロツーリズムのような、身近な人を集めることが求められている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、マスツーリズムからの方針転換が進む可能性がある。地元の人でも来てもらえるように、地域の魅力を再発見するような地域資源の発掘など、ソフト面を含めて魅力を高めていくための努力が必要だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> その通りだと考える。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 町政としてこのようなスタンスで取り組んでいただきたい。
事務局	<p>議事(4) 第 5 次総合計画（基本構想）素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料説明
会長	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなでつくる 恵み豊かな温もりのまち“みさき”」という将来像を提示していただいた。この将来像を基に計画を作っていく。 将来フレームは、コーホート法によって将来人口の想定したもので、13,900 人の目標人口を設定している。 ここ 20 年間、多くの自治体は人口増加を想定した計画を策定していたが、日本の人口は各自治体で減少傾向にあり、人口減少傾向をどこまで抑制できるかに焦点を当てて、計画を策定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 毎年人口は 200 人ほど減少しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の自然動態はマイナス 193 人で、平成 30 年度はマイナス 136 人であった。社会動態は令和元年度がマイナス 86 人、平成 30 年度はマイナス

	<p>129人であった。平成28年度までは自然動態が改善していたが、近年は自然減が続いている。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は人口減少幅を小さくしていくと思うが、人口見通しの根拠はあるのか。 ・ 2040年の合計特殊出生率が、2019年の日本全体の合計特殊出生率である1.36となるように条件を設定した。また、社会移動は転入と転出が均衡するように、設定した。出産や結婚、就職して町外へ出ていく人を減らすための施策を進めていく。
委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方創生総合戦略の施策が大切となってくる。 ・ 人口減少が進むと税収が減少する。人口を減らさない工夫を総合戦略の施策に基づいて着実にいき、人口減少を食い止めていただきたい。 ・ 総合計画では、町の魅力向上のため、公共サービスの向上と定住施策を取り組んでいただきたい。 ・ これらの施策は町民、事業者、役場職員など、すべての関係者が一体となって取り組む必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標人口だけ記載していると、本当に実現できるものか分からず、現実離れた値が記載されているように見える。13,900人はすべての施策がうまくいった際の値で、何も手を打たなかったら11,200人の社人研推計値になるということをも明記するべきだ。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここはあくまでもフレームであり、目標値であることは理解してもらえと思う。了承を得られたら、この表記とさせていただきたい。 (異議なしの声)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、人口についてはこの表記とさせていただく。 ・ 将来都市構造、都市軸と拠点についてはいかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内連携軸強化にあたり、国道や府道の整備を求めていく方針に異論はない。町道整備は、町の限られた財政の中で進めていく中で、町道西畑線が和歌山とつながることのメリットを感じることができない。 ・ また、加太岬スカイラインも、加太からの道が完成されれば便利だが、岬町が素通りされないか。加太港線、加太岬スカイラインの構想について意見を伺いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要幹線、広域幹線道路の書きぶりは、担当課の意向も聞く必要がある。 ・ 道路の整備は、災害時の広域的な物資輸送の経路についても考える必要がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内連携軸における町道西畑線は、第4次総合計画でも記載しており、今後もその計画を着実に進めるという位置付けだ。 ・ 加太岬スカイラインなど、詳細については基本計画で記載する。都市構造図で細かい点を記載することはできないが、道路の老朽化が進んでおり、道路の安全性を確保するための適切な維持管理についても記載させていただく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章中に「はしご状」とあるが、ひとつの道路が不通になってももう一つの道路で代替するラダー構造は有用だ。広域から物資を供給できるような道路の仕組みを考えていく必要がある。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道路環境整備は下水道や住宅など、他の分野との関わりも関係している。具体的な路線名をどこまで書くかを含めて、記載方法は事務局で検討していただきたい。 ・資料 3、住民意識調査のクロス集計を見ると、関西空港に近く、大阪市内まで一本で行けるにもかかわらず交通の便が悪いと回答した人が多い。日常の買い物に不便だという回答も多かった。 ・つまり、日常生活の移動が自家用車に限定されており、都市軸ならびに連携軸の前提が自家用車であるということを表している。コミュニティバスなど、行っている施策が見えてこない。 ・国道 26 号線をサイクリストが走りやすいように整備したり、休憩できる箇所の整備を行ったりしてもよいと思う。 ・将来人口推計についても、目標が達成できるかは人口移動の均衡に依るところがある。働き盛りの人をどれだけ呼び込むことができるかは、安心して暮らすことができるかが大きい。 ・将来都市構造では、細かい道路までは書けないにしても、町内での生活ネットワークを意識して、各分野の取り組みを書いたらよい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想（案）の 4 ページ、町内連携軸の強化に、町のバス移動などを書いてはいかがかというご意見であった。生活道路をどこまで記載するかは事務局で検討していただきたい。 ・大きな都市軸の話よりも、町内の移動をどうするかという問題がある。ソフト面でそのようなニュアンスの記載が可能か検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備も重要だが、優先順位を考えなければならない。他の施策との兼ね合いを考え、優先順位をはっきりさせるべきだ。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に書いていないことは予算がつかないといえども、基本構想と基本計画にどこまで記載するかは今後検討していただきたい。 ・次回の総合計画審議会の際、どのような書きぶりにしたか報告していただきたい。計画には書かずとも、実施計画で記載することも考えられる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 8-2 は基本計画の施策一覧となっている。ここまで議論したテーマが「まちづくりの目標」の「5 安全で快適な住み心地のいいまち（都市基盤）」に当てはまり、その中で道路網の整備は「5-2 交通環境づくりの推進」に記載されている。先ほど委員が指摘した点についてはここで盛り込む予定としている。 ・土地利用構想は、レクリエーションならびに複合施設といった点について議論していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・6 ページの自然共生ゾーンについて、府立自然公園構想が書かれているが、これは大阪府がそのような構想を持っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については次回説明させていただく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・20 年前、大阪府に自然公園はなかった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・10 年以上前から、多奈川近くの箇所、和泉山脈で話があった。現在、都市公園ではせんなん里海公園が指定されている。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪と和歌山を結ぶ近郊のツーリズムのコースや拠点として岬町が指定されるような、魅力づくりも必要だ。基本計画では具体的な内容を記載していただきたい。 ・資料 8、まちづくりの目標は、本町ならびに岬町の潮流を踏まえて、今後の目標を記載している。住民ワークショップや意識調査を通じて目標が建てられていることが分かる。これらの目標と基本方針を基に基本計画を取りまとめていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・岬町が抱える最重要課題は人口減少であるはずだが、資料を見ても人口減少が問題であるということが分からず、ぼやけている。町民がこれを手にとった時に、町の目標が見えてこない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略など、多くの場面で人口減少が喫緊の課題であるとうたわれているものの、6つのまちづくりの目標との関係性が分かりにくい。人口減少に対しての施策は基本計画で記載するものだと理解しているが、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 8-1 の樹状図にあるように、少子化対策ならびに若年層の流出についての対応策は、子育て関係や教育環境の充実とリンクしている。 ・もう一点は、雇用や地域の活性化を「新たな活力の創造と魅力があふれるまち」で記載する。 ・まちづくり全体に係る課題の「誰もが住みやすい環境づくりへの対応」は6つある、まちづくりの目標の全てにリンクしながら人口対策を考えていく仕組みを記載している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境や防災の分野で人口減少傾向の抑制のために施策を打つと理解している。基本構想は漠然としたもので、具体的な取り組みについては基本計画や実施計画で記載すると理解しているが、いかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何のための基本方針かが分かりにくい。まちづくりの課題があり、基本方針を立てて、その下に横断的な施策があるのならば、基本方針をもう少し厚みを持たせてもよい。そうなれば、何を重点に置いて総合計画を立てるのが分かると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの基本方針で、人口減少傾向の抑制や魅力あるまちづくりなど、町の状況を加筆していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標⑥は、「すべての人が輝きまちづくりを進めるまち」とあるが、すべての人が輝いてまちづくりを進めるまちなのか、すべての人が輝くまちづくりを進めるまちなのか、どちらか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人が「輝く」である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それならば、「すべての人が輝くまちづくりを進めるまち」に修正してはいかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 次総合計画を立てるまでに、既に施策として行っているものもあるのではないか。一番重要な施策が何か分からない。優先順位をはっきりさせて、力を入れていく施策を明らかにするべきだ。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢が変化しており、10年間の計画であることから、すべてのまちづくりの分野について記載して、改めてご提案する形となっている。新しく計画

事務局	<p>を策定するにあたって、改めてすべてを見直していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続する施策もあると思うが、いかがか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に合っていない施策は見直し、取りやめる。続けるべき施策は、引き続き行っていき、取捨選択して計画を策定する。 ・基本構想の項目はこれで進めてよいか。この項目に沿って基本計画を立てていく。 <p>(異議なしの声)</p>
事務局	
会長	<p>議事(5) 次回審議会日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・次回の審議会日程は、8月4日10時からとさせていただきます。
会長	<p>議事(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の議題はこれにて終了する。
	<p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>